

令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	学 校 名
8	岐阜城北高等学校

学校教育目標	確かな学力、豊かな人間性、健やかな心身を育み、一人一人の個性を伸ばし、社会の変化に柔軟に対応し、社会に貢献できる人材を育成します。		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー(GP)	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー(CP)	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー(AP)
	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に多様な人々と協働して学び、生きて働く知識・技能を身に付け、課題を発見し解決に取り組む生徒 心身の錬磨を図り、個性を尊重し、奉仕の精神を養い、自らの役割と責任を果たせる生徒 社会の変化に柔軟に対応し、地域や社会の課題に取り組み、地域社会の発展に貢献できる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人がキャリアデザインを具体的に描き、自己実現が図れるよう、各学科の特色ある教育活動を推進し、専門性を深化させるとともに、キャリア教育を推進 「主体的・対話的で深い学び」を推進し、知識・技能を習得させ、他者と協働しながら課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む態度を育成 基本的生活習慣の確立と自他の生命を尊重する態度を育て、生徒一人一人の個性を伸ばし、深い学びを実現するための社会に開かれた教育課程の編成と個に応じた指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣が身に付いており、向学心を持ち、学校行事、生徒会活動、部活動などの活動に積極的に参加し、多様な人と協働して学ぶことができる生徒 進路実現に向かって継続的に努力し、多様な学びや資格・検定、コンクールに主体的に取り組み、自らの可能性を拓く意欲のある生徒 部活動でスポーツ活動または文化活動で優れた能力を有し、入学後も継続して活動する意欲ある生徒
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策		達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 各学科の特色ある教育活動を推進し、専門性を進化させるとともに、生徒一人一人にキャリアデザインを具体的に描かせ、その実現につなげます。	<ol style="list-style-type: none"> ① 各種の検査や基礎学力テスト、進路ガイダンス、キャリアカウンセリング、キャリアパスポート等を通して、生徒が自己の能力・適性を正しく理解し、主体的に進路を選択する態度や意欲を培うことができるよう支援します。 ② 確かな学力と専門的な知識やマナー、コミュニケーション力を身に付けられるよう、インターンシップや外部機関との連携を推進し、実践的・体験的な学習活動を展開するとともに、地域社会で活躍できる人材を育成します。 ③ 生徒が描くキャリア目標を達成できるよう、就職模擬面接指導や小論文指導、公務員講座、看護模試等、個に応じた支援を行います。 		<ol style="list-style-type: none"> ① キャリア実現に向けた系列選択、コース選択の達成、基礎学力テストの結果の推移(前年度比較)、キャリアパスポートの記入状況 ② 生徒の評価・保護者評価アンケート：進路指導関係項目の肯定的意見80%以上及び生徒の満足度の向上 ③ 進学及び就職決定率 100%
2 基礎的・基本的学力の定着を図り、目的をもって自主的・主体的に学ぶ意欲や態度を育成します。	<ol style="list-style-type: none"> ① さまざまな機会を通して学習活動の必要性を訴えるとともに、家庭学習の習慣が身に付くよう教科間で連携して家庭学習課題を提供します。 ② 毎時間の授業では本時のねらいを明確にし、学ぶ必要性を感じさせるとともに、まとめでその達成度を確認する授業を行います。 ③ 生徒による授業評価を、指導方法の改善に生かし、分かる授業を目指します。 ④ 職員間で授業を公開し、生徒の学習状況やICTの活用などの指導方法等について学び合い、授業改善に生かします。 		<ol style="list-style-type: none"> ① 家庭学習時間調査：学習時間数の増加(目標：1日2時間) ② 生徒評価アンケート：学習指導項目の肯定的意見80%以上 ③ 生徒による授業評価：肯定的意見80%以上及び満足度の向上 ④ 職員相互の授業参観回数：3回以上
3 基本的生活習慣の確立と自他の生命を尊重する態度や思いやりの心の醸成、積極的な教育相談の姿勢を確立します。	<ol style="list-style-type: none"> ① 生徒が自律的に身だしなみを整え、校内ルールや情報モラルを遵守するよう促していきます。また、安易な欠席や遅刻をなくし、充実した学校生活を過ごす意識を高めていきます。 ② 自転車運転免許講習や交通講話等を通じて、交通安全意識を高めます。また、薬物乱用防止講話、ひびきあいの日の活動を通じて、自己や他人を尊重する意識の定着を図ります。 ③ 生徒一人ひとりの「心」のサインを見逃さず、様々な機会をとらえて生徒との対話を深め、生徒との信頼関係を築いていきます。 		<ol style="list-style-type: none"> ①～③ 生徒・保護者アンケート：生徒指導関係項目の肯定的評価80%以上 ① 遅刻者数：前年度比20%減少 ② 交通事故件数：前年度比30%減少